

厳冬に咲く桜

通常は桜は春に咲きます。しかし、厳冬にも関わらず、きれいな花を咲かせている桜が上坂部西公園にあります。十月桜です。決して華やかなやかさはありません。花弁は八重で花びらは5～18枚、全体のつぼみの3分の1が10月頃から咲き、残りの3分の2は4月初めに咲きます。同様に秋から冬に咲く桜では、「冬桜」「ヒマラヤザクラ」があります。冬桜は一重で花びらは5枚です。ヒマラヤザクラは上坂部西公園でも見られ、十月桜の近くに植えられています。



開花のメカニズム

なぜ寒い時期に咲くのでしょうか。春に咲くサクラの花芽は、前年の夏に形成されます。しかし、それ以上、生成されることなく、その後、「休眠」という状態になります。休眠した花芽は、一定期間、低温にさらされることで、眠りからさめ、開花の準備を始めます。これを「休眠打破」といいます。休眠打破は、この秋から冬にかけて一定期間、低温さらされることが重要なポイントです。そして、春をむかえ、気温が上昇するにともなって、花芽は成長「生成」します。気温が高くなるスピードにあわせて、花芽の生成も加速します。生成のピークをむかえると「開花」することになります。このように、サクラの花芽の「休眠」・「休眠打破」・「生成」・「開花」は、秋から冬にかけての気温と春先の気温に、大きく関係していることがわかります。冬のない常夏の国には、日本のサクラは、美しく咲きません。サクラは、四季のある美しい日本の国で進化した植物なのです。

花芽発達の可能な温度域は0～25℃で、最適は10℃です。休眠は以下の3相に分けられます。

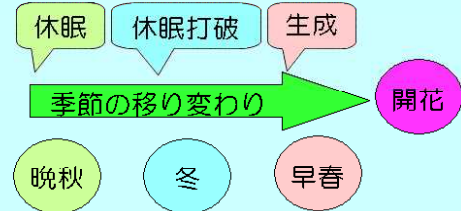
- ・前休眠期（葉が芽の成長を抑え、摘葉すれば芽が成長する）9月上旬～10月中旬
- ・真正休眠期（摘葉しても好適な環境下でも芽が成長しない自発休眠の状態）10月上旬～11月中旬
- ・後休眠期（環境が好適であれば芽が成長する、強制休眠の状態）10月下旬～1月上旬

冬桜は前休眠期と真正休眠期が極めて浅いか、休眠期がほとんど確認されないため、秋～冬にかけても咲き続けていると考えられます。十月桜は、休眠が浅い時期は休眠打破でき早期開花し、真正休眠期の最深期には開花せず中休み状態になり、休眠覚醒と共に再び開花(二度咲き)すると推察できます。

華やかさの陰に…

夏の桜は、葉が生い茂っていますが、よく見るとその脇に小さな小さなつぼみのようなものがあります。これが、「花芽」（花のもととなるものでつぼみの前段階）や「葉芽」（葉のもととなるもの）です。何と桜は6月ごろから、次年の開花や緑葉の準備をこつこつと始めているのです。そして、春咲く桜は、色鮮やかでパッと咲きサッと散ります。秋冬咲く桜は地味ですが、細々と長く咲き続けます。桜にも、それぞれの個性や特徴があって、それぞれの輝きがあります。得てして私達は、目立つもの華やかなものだけに目を向けがちですが、（自然だけでなく社会や人も）地味ではあるが確かに存在してるものにも気づいていきたいところです。そして、そのよさや素晴らしさを感じたいところです。花芽や十月桜に学ぶ…豊かな感性と探究心を持って接していくと、ものの見方や考え方がさらに広がっていきます。言葉では言い尽くせないもの、伝えられないものは、こんな身近なところにもしっかりと存在しています。

開花のしくみ



↑花芽の生長過程 松江地方気象台HP



ヒマラヤザクラ:日本へは1968年に現ネパール国王から贈られた。ヒカンザクラ群の先祖と推定される。二酸化窒素の吸収同化能力が高く、環境浄化木として注目されている。

参考資料 ★このはな咲くや図鑑（桜旅人） ★農業技術大系（農山漁村文化協会）
ヒマラヤザクラ写真 Wikipedia「ヒマラヤザクラ」より転載